

●イラストレーター、フォトショップ (CS-6)

●Mac OS 10.6.2

2014年9月

佐伯通信

【熱海だより】



愛犬の「みかん」と。
撮影・斎藤 浩 (講談社写真部)

担当の野村某氏が嘆いている。ともあれ、百冊目達成のときと違い、明らかに体力の衰えを、老いを感

じめる。シリーズ継続中が六作ある。すでに「密命」は二十六巻で結末を迎えた。このシリーズの十七巻目「初心」で百冊目を迎えたのが平成十九年六月ゆえ、百冊から二百冊目にかけて七年の歳月を要したことになる。一年平均十四冊のペースがいつまで続くのか。こちらの老いの進行とチキンレースになってきた。とはいえ、注文があることは作家にとってこれ以上の真利はない。死ぬ日まで小説を書きながら生が終わ

変わらぬ日々

時代小説に転じて十五年余、めでたくも(？)十月刊の夏目影二郎シリーズの最終巻『神君狩り』で二百冊を

佐伯通信

2014年9月(平成26) 第23号
発行 佐伯泰英事務所
担当/講談社
禁・無断転載

2014年9月

佐伯通信

【近刊予告】

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

2014年 11月

28日 発売予定

《新潮文庫》
新・古着屋総兵衛
9
『たそがれ歌麿』

2014年 10月

15日 発売予定

《ハルキ文庫》
鎌倉河岸捕物控
25
『新友禅の謎』
『佐伯通信』第24号が入ります。(初版の初回出荷分にはのみ挟み込み)

2014年 10月

9日 発売予定

《光文社文庫》
夏目影二郎始末旅
15
『神君狩り』(シリーズ最終巻) [決定版]

近刊・作品情報はここでもチェックできます。

<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト

【お知らせ】10月9日より「時代小説200冊記念トップページ」にいたします。どうぞ高覧ください。

2014年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)講談社、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社、(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋

57

時代小説に転向したときの佐伯さんの満年齢。それまでの半生に培った波瀾万丈の体験が作品に反映されていった。

68

「交代寄合」もおかげさまで10年目！第1巻「変化」は通巻68冊目でした。高層ビルの間から颯爽と自転車現れた佐伯さんは格好よかった……。

佐伯泰英 時代が動き出す！ 交代寄合伊那衆異聞 講談社文庫

「惜しい！」といえは、記者の母校があと一歩のところで甲子園出場を逃してしまつた。在学していた頃は、十年連続初戦敗退の県内記録を更新していたほどの弱体チームだった。願えば夢は近づく、人も組織も変わる……ちよびり勇気をもつた夏でありました。

（講談社文庫出版部・野村吉寛）

佐伯泰英を解く！ U.S. キーパー

3

爽やかで温かく誰にも勧められる佐伯作品は、祖父、祖母から孫まで三代が一緒に楽しめる。

15

「密命 見月参！寒月 隠斬り」で佐伯時代文庫がスタートしたのが15年前の1999年。時代小説人気が中心に、いつも佐伯泰英がいる。

65±1

日々の節制の賜か、佐伯さんの体重はここ10年この変動内だという。骨密度はなんと20代並み！各担当氏の激太りは推して知るべし。

「惜しい！」といえは、記者の母校があと一歩のところで甲子園出場を逃してしまつた。在学していた頃は、十年連続初戦敗退の県内記録を更新していたほどの弱体チームだった。願えば夢は近づく、人も組織も変わる……ちよびり勇気をもつた夏でありました。

199冊 伊那スポーツ 暗殺

200冊 通算

佐伯泰英 前人未到 快挙へ

キング・オブ・時代小説、佐伯泰英さんがまもなく書下ろし時代小説文庫だけで二〇〇冊という大記録を達成されます。本号を挟み込んだ「暗殺 交代寄合伊那衆異聞」が一九九冊目だとか（惜しい！）。えつ、全部読んでおられる？ それもつづの歴史へです。達成前夜祭として、佐伯さんの凄さを物語る数字を挙げてみました。

新・酔どれ小唄 二十五巻 子エック用 吉原裏同心 巻末に「全作品リスト」が つきました！

各社の全シリーズの書名リストです。「交代寄合伊那衆異聞」シリーズでは今後「佐伯通信」が挟み込まれるときの巻末に最新版の「全作品リスト」を掲載していく予定です。

りを迎えられるたらそれ以上の幸せはない。

版元の祥伝社に願って「密命」全二十六巻も完全版にするべく近々手を入れ始める。

「狩り」(夏目影二郎始末旅) シリーズ十四巻の手直しに足かけ三年余の歳月が要つた。となると「密命」の手直しにどれほどの歳月がかかるのか。新作を書きつつ、旧作を手直しする。「居眠り警音」はお題目みたいになんて十巻完結を唱えてきた。これを通読して手入れをするとなるべく、嗚呼、百歳まで生

きねばならないか。生き死には神様の手に委ねよう。

また「狩り」シリーズに話を戻す。十五巻目『神君狩り』を新たに書き加えて全十五巻で完結とした。国定忠治の最期の磔刑場面を描写しながら「かかあ天下と空っ風」という上州群馬を評する言葉には深い意味が込められていると意識させられた。折しも富岡製糸場が世界遺産に登録された。書き終えて、「狩り」十五巻の主題は「上州の時代の流れ」であったとつくづく思った。

「佐伯通信」第24号は、11月15日刊行予定の「新友禅の謎 鎌倉河津捕物控25」(ハルキ文庫)に入ります。出版社からのお知らせ 光文社文庫

佐伯泰英 時代小説

祝!! 200冊突破

「夏目影二郎始末旅シリーズ」 『神君狩り』

待望のシリーズ最終巻 10月刊行!

佐伯泰英さんの時代小説が「神君狩り」でついに200冊となります。そこで、それを記念し200冊目の「神君狩り」にて記念企画として「特表本プレゼン」を予定しております。

※詳しくは「神君狩り」オビなどに記載予定